



題字
宮城県知事 山本壯一郎

発行所
仙台市上杉一丁目2番16号
社団 宮城県畜産会
電話 (62-9180)
編集発行人 百井英一
定価 1部60円
印刷所 KK東北プリント



“願かけ牛”(佐藤利吉氏所蔵)

もくじ

知事年頭のごあいさつ……	2
会長年頭のごあいさつ……	3
生乳需給について……	4
第8回全日本ホルスタイン共進会開催さる……	5
黒毛和種の過剰排卵誘起法について……	6
あか牛……	7
牛の異常産について……	8
隨想……	8
畜産物市況の展望……	9
賀春……	10

“二十一世紀をめざして”



宮城県知事

山本 壮一郎

県民の皆様、明けまして、おめでとうございます。

昨年は、厳しい環境の中にも、五年ぶりの米の豊作という明るい出来事がありました。天候にも恵まれましたが、農家の皆様の努力が実を結び、久しぶりに豊かな稔りの喜びを味わうことができ、景気にも明るさが見えてきました。

二十一世紀へ向けた県土の基礎づくりも大きく前進しました。七北田ダムの完成、仙台北部中核工業団地の造成、みちのく杜の湖畔公園、大規模年金保養基地、石巻港副港、東北横断自動車道酒田線の建設や仙石線仙台地区の地下化などかねて準備を進めておりました大規模プロジェクトが相ついで始まりました。

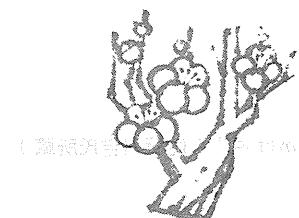
日本最古の中峰遺跡の発掘も明るい話題を提供しましたが、なによりも県民皆様による地域づくりや文化活動が県内各地で活発に展開され、大きな高まりを見せました。また、民間ユネスコ世界大会などのビッグイベントも数多く開催され、活気にあふれた一年でした。

新しく迎えました昭和六十年は、来るべき二十一世紀へ向けて本格的な基礎づくりを始める年であります。急激に進む高齢化社会や国際化、日進月歩の技術革新の中で、ますます求められます快適環境をこの県土の上に造り出し、やすらぎと心のふれあいを求め、豊かな人間性を育む活力に満ちたふるさとづくりに、一層の努力を重ねてまいりたいと考えております。

今年三月都内乗り入れが実現する東北新幹線の波及効果を県内のすみずみにまで広げ、二十一世紀のわが国を支える重要な地域である東北地方を力強くリードする本県の役割を正しく果たし、新しい時代への移行を確かなものとしてまいらなければなりません。

私は、県民皆様の英知と総力を結集し、二十一世紀を展望した新長期計画を樹立し、新しい時代の創造にまい進する決意であります。皆様方のお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり、県民皆様のますますのご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



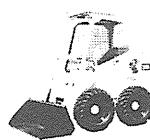
ワールド サンシャイン

株式会社 五十嵐商会



仙台市卸町五丁目1番地4
電話(022)96-2525(代表)

TCM東洋アタッチメント



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。
畜産農家の近代化に
作業の省力化に大きく貢献します。
豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社

東北ティー・シー・エム株式会社

983 仙台市日の出町3丁目9-35
電話 022-35-5511~5517

年頭のごあいさつ



宮城県畜産会々長

百井 英一

新年あけましておめでとうございます。

皆さまには、ご一家お揃いで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は天候に恵まれ、過去4年続きの冷害から戦後2番目の大豊作に転じ、稻作を基幹とする農山村に漸く明るさが戻ってきましたことは誠に喜びに耐えない次第であります。

しかし、こと畜産を顧りみると、肉用牛を除く家畜の計画生産の厳しい条件下のもと畜産物価格が不安定に推移し、経営面で何かとご苦労が多くなったことと存じます。

肉用牛については、子牛価格がややもち直しつつあるものの、牛肉の貿易交渉を契機としたマスコミの影響等もあって先行き不安と動搖の一年でもありました。

このような情勢下にあって、肉用牛の振興については、関係団体一丸となった推進会議の組織化により不安解消のための啓蒙をはかると共に、特に繁殖牛については経営安定化のための農家一貫経営を強力に推進する一方、肥育面では肥育期間

の短縮により収益増加につながる経済肥育について今後共積極的に取り組んでゆくこととしております。

牛肉の需給は国内生産が減少すると逆に輸入が増えることとなりますので、今後の牛肉生産は如何にして国際的に対応し得るかが大きな課題であり、そのためには土地利用型を基軸とした低コストに向けて体质を強化し国内自給率を高めてゆくことが何よりも緊要なことだと思います。

本年度において加美地域を対象に調査実施中の公社営畜産基地建設事業も土地利用を主体に畜産主産地を指向したもので、当該地域はもとより本県畜産の将来の発展に大きな裨益をもたらすものと期待されています。

畜産は牛肉を除く畜産物の需要構造において大きな変化はなく、消費の伸びも大巾に期待できない現状から、これまで通り需給均衡をはかるための生産調整を継続実施する必要があると云えます。

畜産会では、本来の使命である畜産経営診断指導事業ならびに関連する諸事業について関係機関団体とより緊密な連繋を保ち乍ら足腰の強い畜産経営の確立を目指し、畜産農家の経営合理化と生産性向上のため微力を尽す所存ですので、関係者皆さま方のなお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

丑年にちなみ、畜産が一層飛躍できる年でありますよう益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ年頭のご挨拶といたします。

“加美グリーンで豊かな土づくり”を (製品届出番号一宮城県第731号)

名 称 加美グリーン

成分内容 本品は鶏糞等を高温発酵させたもので、どの作物に使用されてもへい害はありません。この施用により土壤 pH 8.6 が保たれますので土壤改良資材として最適です。(水分 30% N 2.60% - P 6.18% - K 3.19%)

小売単価 1袋 15kg 320円(バラ売り可)

製 造 加美コンポスト利用組合(加美郡色麻町黒沢字切付70) (TEL 02296(5)-4336)

牧場用柵には
強く美しいスマートな

東伸製鋼牧柵を!

製造元 東伸製鋼株仙台営業所
仙台市一番町二丁目7-5 TEL 277053

販売元 塚本商事機械東北出張所
仙台市花京院二丁目1 TEL 627771

代理店 本山振興株式会社
仙台市昭和町6番10号 TEL 346221

生乳需給について

宮城県生乳販売農業協同組合連合会

I 上期の生乳生産、並びに消費の状況

全国の生乳生産量は夏場の猛暑による牛体の疲労の為、6月～8月には3ヶ月連続で前年割れとなつたが9月に入り102.7%と若干の回復基調にある。一方、飲用牛乳等生産量は58年10月以降7ヶ月連続で前年割れの傾向にあったものが、59年6月～8月の天候の影響で需要が伸び、5月までの伸び悩みを克服した形となり、4月～9月の合計では2,162千トン、対前年比101.4%となった。

総体的には、59年6月～8月に生乳生産量が著しく停滞する一方で飲用牛乳等向け処理量が急激に増加した為、乳製品需給がかなり逼迫する状況となった。

II 畜産振興事業団の脱粉放出をめぐる状況

59年6月～8月の猛暑により乳飲料、アイスクリーム向けとして急激に脱粉の需要が高まり、9月6日に脱粉4,000トンを放出した。この際の落札価格は、安定指標対比108%程度の高値になった模様である。さらに引き続き10月16日には残りの4,850トンが放出され、現時点での畜産振興事業団の在庫は0で輸入という事態も考えられている状況にある。

III 59年度下期の計画生産対策について

今年の記録的な猛暑により脱粉の品不足が生じており、輸入についても危惧されている。この為、10月8日開催の中央酪農會議理事会において計画生産目標の完全達成と共に年度末の在庫を確保する為、今年度の計画生産目標6,742千トンに50千トンを上積みしてこれを出荷調整乳とすることが決定されたが、現時点での中央酪農會議の見通しでは、当初の目標6,742千トンに対し未達30千トン。これに出荷調整乳としてすでに決定されている分44千トンを加え6,756千トンとなっており、今後の生産動向が注目される。

IV 本県の生乳生産、並びに消費の状況

全国とほぼ同一歩調で推移しており、4月～10月の受託販売乳量94,180対前年比101.69%（飲用向75,943トン対前年比103.41%，加工向け15,124トン対前年比88.36%）となっており、今年度の本県の計画生産目標163,376トン対前年比103.36%に対し現時点では未達が懸念されている。

尚、9月13日開催の生乳販賣理事会において生乳計画生産目標完全達成の為、今年度は本県の計画生産目標内において会員間の枠の調整を行なうことが決定されている。（小幡）

妊娠婦の皆さまに牛乳を
特別価格でお届けします。

*あらかじめためい
Ca補給*

●お申し込みについて
お申し込み頂いた月の翌月1日から2ヶ月間200ml入りを毎日1本通常の家庭配達価格から20円引きでお届けします。
更に、契約期間終了後、6日間（毎日1本）無料でお届けします。
〔対象〕 妊娠中、または出産後1年以内の方
〔お申込み受付〕 昭和59年6月1日から
昭和60年2月28日まで
〔お申込み方法〕 母子健康手帳をご持参の上、お近くの家庭配達をしている牛乳販賣店にむち申込み下さい。
※ご近所に妊娠婦の方がおられる場合は、このキャンペー...をお知らせ下さい。

美と健康は牛乳から

宮城県牛乳普及協会
仙台市錦町一丁目6番5号
TEL 0222(63)7688

ミルクファミリー会員募集

宮城県牛乳普及協会では、牛乳を通じてより健康的な家庭作りを目的とした「ミルクファミリー」の会員を募集しています。宮城県内に住んでいる方で牛乳を飲んでいる方ならどなたでも入会できます。

応募は、簡単なアンケートに答えるだけ。会員になると、会員カードと案内パンフレットが送られます。（尚、会員の方には今後数々の特典があたえられます。）

糞尿処理メーカーの糞尿専用

ヒドロポンプ

マイティシリーズ

スラリーポンプ

ショットーポンプ

ノンクロポンプ

ヒドロススリンク

ヒドロポンプ 発売元



株式会社

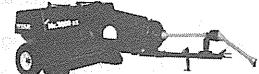
東北加藤

〒983 宮城県泉市南光台2丁目22番15号
TEL. 0222-74-0781 (代表)

より豊かな明日の農業のために

STAR

頼もしい働き者
牧草梱包機わら梱に!!



Mr1000 Mr2000DX
Mr3000DX、Mr4000DX

ヘーベーラTHB2020

スター農機株式会社 仙台営業所

983 仙台市福田町2丁目4-20佐正ビル内
0222-58-7301

第8回全日本ホルスタイン 共進会開催さる

宮城県ホルスタイン協会

ホルスタイン界の“オリンピック”ともいべき、第8回全日本ホルスタイン共進会が本年10月9日から13日の5日間岩手県の滝沢村にて開催されることは既にご案内のとおりです。本大会から自県産によるものや多回検定の部など新設され、本県酪農の成果を問われることになります。

今年は牛年でもあり、第8回共進会を成功させ、ますます酪農が発展することを期待します。

第8回全日本ホルスタイン共進会規則(抜粋)

1. 目的

この共進会は第8回全日本ホルスタイン共進会といい、わが国ホルスタインの改良方針にそって改良を進

めている都道府県代表のホルスタイン種牛及び同種系を一堂に集め、その水準を広く示し、もって改良増殖の推進に資し、あわせて堅実な酪農業の伸展を期することを目的とする。

2. 部別出品内訳と生年月日の範囲

(下表)

3. 出品牛の資格

(1) 第一部から第6部までの出品牛は、自県産でかつ出品者が6カ月以上所有し飼養しているもの。

(2) 第7部から第9部までの出品牛は、出品者が1年以上所有し飼養しているもの。

(3) 未経産牛で生後24カ月以上のものは妊娠確実であるもの。

4. 本県予選会

第1期 昭和60年5月21日(古川家畜市場)

第2期 昭和60年7月27日()

(伊藤禎徳)

部別	区分	分	第2期の 出品目標	生年月日の範囲
第1部	ホルスタイン種牛 又は同種系牛	雌 未経産 12月以上16月未満 母はF能力指数175以上のもの又は検定中のもの	30頭	昭59年6月10日から 昭59年10月9日まで
第2部	" " "	16月以上20月未満 "	30	昭59年2月10日から 昭59年6月9日まで
第3部	" " "	20月以上24月未満 "	30	昭58年10月10日から 昭59年2月9日まで
第4部	" " "	24月以上28月未満 "	30	昭58年6月10日から 昭58年10月9日まで
第5部	" " 経産 2才以上3才未満	F能力指数175以上のもの又は検定中のものにあっては母がF能力指数175以上のもの	35	昭57年10月10日から 昭58年10月9日まで
第6部	" " "	3才以上4才未満 "	35	昭56年10月10日から 昭57年10月9日まで
第7部	" " "	4才以上5才未満 F能力指数175以上のもの	35	昭55年10月10日から 昭56年10月9日まで
第8部	" " "	5才以上 "	35	昭55年10月9日以前
第9部	多回検定 "	6才以上 3回以上検定をうけ3回の平均F能力指数170以上のもの	20	昭54年10月9日以前
第10部	母系 "	母と同じくする娘牛2頭1組、F能力指数175以上、ただし娘牛は検定中のものを含めることができる。この場合は母がF能力指数175以上のもの	10組	

畜産の健康と未来に貢献する

獣医用薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

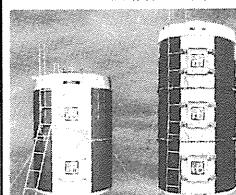
小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市二枚橋第一地割296-5
TEL 0198-264151代

古川営業所 宮城県古川市稻葉字大江向179-1
TEL 02292(3)8888代

花巻営業所 水沢営業所 青森営業所
盛岡営業所 大館営業所 八戸営業所
大船渡営業所 横手営業所 山形営業所

※ 肉用牛の飼養に是非サイレージを
※ 信頼性の高いステンレス気密サイロ



オリオン ミニスター

O S M-10 10m³
O S M-15 15m³

オリオン機械株式会社

仙台営業所 仙台市六丁目 TEL 94-0691代
仙北出張所 薩摩町字久伝 TEL 2-9242
仙南出張所 大河原町幸町 TEL 3-3355

<畜試便り>

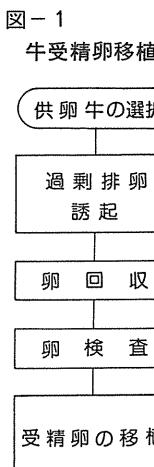
黒毛和種の過剰排卵
誘起法について

<牛受精卵移植技術—その1>

牛の受精卵移植は、優れた遺伝形質をもつ雌畜に人为的な処置を施して、多数の卵子を生産させ、受精後母体の外に取り出して、個々の受精卵を他の雌の生殖器内に移植し生産することである。図-1に示すような各段階の技術は高度なものであり、確実に行なわなければ子畜の生産には至らない。今回は、昭和58年度から宮城県でも行なっている黒毛和種の受精卵移植技術で、多数の卵子を生産する過剰排卵誘起法を紹介します。

牛は単胎動物で、普通1個の卵子しか排卵しないがホルモン剤（卵胞の発育に用いるホルモン剤と、発情を誘起するホルモン剤の2種類）の投与によって、多数の卵子を排卵させることができ。発情の段階で人工授精を行なえば、多くの受精卵を得ることができる。このことが過剰排卵誘起であり、この技術の進歩によって、受精卵移植がさかんに行なえるようになった。図-2は実際の過剰排卵誘起法を示している。

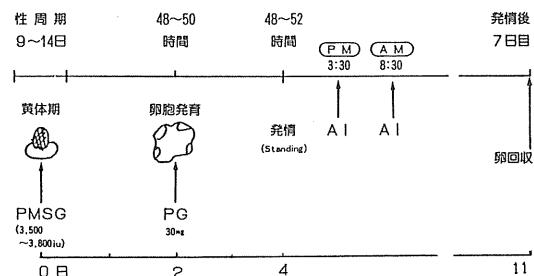
受精卵を取り出す牛の正常性周期の9~14日目に、卵胞を発育させるホルモン剤=PGM (妊娠馬血清性腺刺激ホルモン3,500~3,800iu)か、FSH (卵胞刺激ホルモン)30mgを投与する(0日とする)。48~50時間後に発情を誘起するホルモン剤=PG (黄体退行因子)を30mg投与する。PG投与後48~50時間で発情が来歴する(0日より起算



すると4日目)。発情後人工授精を行ない受精させるわけであるが、発情が来なかったり、卵胞の発育が悪く排卵まで至らない場合には、受精卵は回収されない。

図-2

過剰排卵誘起法



過剰排卵誘起は、受精卵移植をするために多くの受精卵を得ることが終局の目的であるので、その良否は回収された受精卵数及び、実際に移植に使用する正常卵(発育・形態の良いもの)数で判定される。過剰排卵誘起を成功させるためには、誘起する牛の性周期を観察し、すくなくとも2周期、正常サイクルを確認のうえホルモン剤の投与を始めることが大きなポイントとなる。

表-1 過剰排卵処理成績

	処理頭数	黄体数	回収卵数	正常卵数	A	正常卵B	C
昭和58年 度	28	10.1 ±3.7	5.4 ±3.9	2.8 ±2.3	1.5 (52)	0.3 (10)	1.1 (38)
昭和59年 度	17	7.7 ±3.5	4.6 ±3.4	2.4 ±2.3	1.5 (61)	0.6 (24)	0.4 (15)

表-1は、畜産試験場で飼育している黒毛和種で過剰排卵誘起を行なった成績である。誘起処理頭数は、58年度28頭、59年度17頭で平均の黄体数は、10.1、7.7個であった。この黄体数は、推定の排卵数とも考えられている。また、回収した受精卵数は、5.4、4.6個で、このうち発育の良い(発情日を0として7



飼い上手 育て上手は……
みのたに……で

動物薬品・獣医器具総代理店
株式会社 美濃谷

本山形店 山形市蔵王成沢字町浦491~2 TEL 093121
仙台店 仙台市山田字羽黒堂5番216 TEL 094306
鶴岡店 鶴岡市大字布目字東通り57~1 TEL 0109063
いわき店 いわき市常磐湯本栄田3 TEL 0246440300



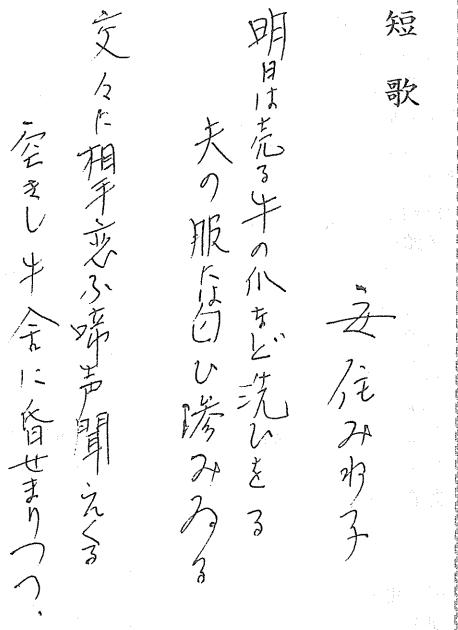
ビフィズス菌は
活きたまま腸までとどきます。

・ビヒダス®
ヨーグルト 500ml

宮酪乳業株式会社
名取市飯野坂丘丁目1番3号
(02238) 4-5181

目前に回収しているので、受精卵は発育し、桑実期から胚盤胞期と呼ばれる状態となっているもので、かつ形態の良い(牛の受精卵は1mmの約 $\frac{1}{10}$ の大きさで球形)受精卵。正常受精卵数は、2.8, 2.4個であった。実際に移植し受胎する可能性のあるものが、正常受精卵であり、発育形態によりA, B, Cの3段階に分けている。すなわちAランクのものが一番受胎性の高い受精卵となる。年度により過剰排卵処理成績に大きな差はみられなかった。

牛の受精卵移植を実用化する場合、いかに良い受精卵を、多く、しかも安定的に得る過剰排卵誘起法の確立が重要となり、現在、従来の方法を改良し検討を加えている。(沼辺 孝)



あか牛

今年は「うし年」あか牛にとって、良い年になることを祈らずにはいられません。

あか牛の正式の名称は「褐毛和種」ですが、これを正しく読んでくれる人は極めて少なく畜産の大ベテラン及び長年牛関係の業務に携って来た人でも「カツモウ」とか「カツゲ」と発音しているようです。

もっともこれは本県だけでなく全国どこも同じような状況にあった様で登録協会の本部でもゆきことと判断したかどうかは不明ですが、昭和46年から「褐毛和種」を単にあか牛と記し呼ぶようになりました。

牛の色彩形状から「黒毛和種」に対しての「褐毛和種」となったと思われますが、余程語彙の豊富な人や語学力の達者な人でも「褐」をあかと読むのは至難のことでありましょう。しかし正式名称を早く多くの人達に正しく抵抗なく発音してもらえるよう「あかげわしゅ」が全国的に有名になってほしいものです。

本県にあか牛登録協会の支部が出来たのが昭和28年11月6日で、すでに31年たちました。

全国にさきがけて協会の支部がつくられたことを見ても当時かなりの頭数が本県に飼われていたと思われます。古の話によれば北は迫、南は大河原まではほぼ県全域の農家で飼われていたとのこと。

農機具の普及と黒毛和種の競争を受けて現在は黒川郡内を中心千頭足らずが飼われているだけで誠にさびしい限りです。しかし肉牛を取り巻く状況の大きな変化と消費者の嗜好も赤肉中心となり、あか牛に再び期待がかけられる時代が到来しつつあると思われます。

この期を逃さず関係者が一体となって本県のあか牛振興に真剣に取り組み、現行の10倍の1万頭の飼養頭数にしたいものです。(牛 井)



飼料はみのり

採卵鶏用配合飼料
ブロイラー用配合飼料 肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号
TEL石巻 0225 (95) 4171~4

畜産公害を追放する

家畜糞尿処理工事 畜舎工事
さく井工事
ポンプ工事
ボン水処理工事
設計・施工

株式会社 北辰技術

仙台市鉄砲町18番地
電話 (0222) (93) 2461

牛の異常産について

牛の異常産の原因についてはウイルス、細菌、カビなどを中心とした病原微生物によるものから、飼料(化学飼料)、農薬、肥料などによる中毒、栄養素(ミネラル、ビタミン類)やホルモンのアンバランスからくる代謝性障害によるものまで多くのものが考えられます。ウイルスではアカバネ病がその代表的なものとしてあげられ、その他パラインフルエンザウイルス3型(P I₃-V), 牛ヘルペスウイルスI型(IBR), 牛ウイルス性下痢・粘膜病(BVD-MD)などがあり、細菌ではブルセラ病、キャンピロバクター病(牛ビブリオ病)など、原虫ではトリコモナス病があります。

特に最近ではウイルス病が問題となっており、アカバネ病の他にIBRやBVD-MDによる流早死産が発生し、臨床診断ではアカバネ病との鑑別は難しくなってきました。IBRに感染すると、妊娠4~7カ月齢の牛では感染後2週から3カ月後のうちに流産が起こり易くなり、その発生頻度は2~20%によるものと確認されています。

アカバネ病にあっては最初九州地方を中心として発生がありました。徐々に北上し東北地方でも本病が確認されるようになりました。幸い本県における発生はまだ確認されていませんが、本病は蚊やその他の吸血昆虫により媒介され8月後半頃より流産、次いで体型異常子の出産がみられ、母牛には特に何ら異常が認められないのが特徴です。体型異常子について大脳欠損、盲目子牛、虚弱子牛等の発生がある場合には本病が疑われます。

牛の異常産にはまだまだ原因不明の点もありますがワクチンの開発されているものにあっては、必要に応じてワクチン接種を心掛けたいものです。IBR、アカバネ病については県家畜産物衛生指導協会で実施していますので最寄りの指導協会または家畜保健衛生所に御相談下さい。

(仙台家畜保健衛生所病性鑑定課 横山亮一)

隨想

丑年に寄せて

今年の干支は丑年に当っている。丑年の作柄はどうなるだろうか。

昔から子年に不作なしとの云い伝えがあると聞いていたので、四年も続いた不作のあとだけに、基本技術の励行を呼びかけながらも、神だのみ的な気持で豊作を願って過した昨年であった。

摂牛の飼養頭数は年々増加しており、私が県職員となった丑年には乳用肉用併せて4万頭弱であったが、次の丑年には7万頭に次の丑年には9万頭を越し、現在の15万頭(推定)と年々増加の傾向にあることは喜ろこばしい限りである。

しかし飼育している農家の数は年々減少して、畜産の生産構造が大きく変り専業経営となって、かんたんに牛の姿に接する機会が少くなるのではないかろうか。

素人の方々には何となく巨大で、どう猛に見える牛は吾々畜産にとっては、最高栄養食料である乳と肉を供給してくれる大事な生物である。

多頭専業経営となって問題とされるのは排泄物であり、畜産公害の元凶として臭気等とともに悪物扱いにされているが、土地の生産性向上に欠くことのできない必要なそして立派な有機物資源なのである。

農業は生物循環をうまく活用する産業であり、稻づくりは勿論甘くておいしい果物、やさい又立派な生糸を作るにも、有機物資源である良質の堆肥によって土を作ることが基本となっている。

農業生産の基本となる土づくり運動を、昨年から12・イチニイチニ運動として呼びかけており、家畜が生産する有機質肥料資源を有効に活用して、地域農業を複合化する方向に県農政が進行しているが、丑年を契期として「モウ」一層の活動を期待しているものである。

(農政部次長 芳賀文蔵)

発育促進・食欲増進・栄養補給に
ビタミン・ミネラル
ビタミン・ミネラル総合飼料添加剤

日本全薬工業株式会社

クスリの総合卸



株式会社 エー・シン

(旧 株山田仙寿堂)

本社 代表取締役社長 山田修造

事業本部内 仙台市卸町二丁目10番の3

畜産営業所 仙台市木町通一丁目5番19号 TEL(大代表)65-3151

古川店 内 古川市福浦字道の上137-1 TEL 02292-4-1211

本社
事業本部内
畜産営業所
古川店 内
畜産課

畜産物市況の展望

牛 肉

1月の牛枝肉供給量は乳用牛がほぼ前年並の35千頭、和牛は依然増加傾向にあり41千頭(前年比115%)との見通しである。

一方消費は寒さによる需要が期待されるが、12月に比べるとやや落込むことも予想される。

以上のことから市況についても12月に比べ一段安が予想され、和牛上物で2,150円中心、中物で1,700円中心の推移、乳用牛(去)中物で1,300円中心の動きか。

豚 肉

農林水産省の予測による1月の全国肉豚出荷頭数は1,508千頭で前年同月比102%となっている。

また輸入豚肉は9,500トン程度(前年比60%)と見込まれる。12月の上物中心価格は620円前後で推移していることから、量販店の小売価格が引き下げられ、消費の伸びが期待される。

しかし例年1月の消費は正月明けの不需要期となるため売れ行きの停滞は、さけられない見通しで、12月の売れ行きと1月への越年在庫量によって市況の展開も変ってくると思われ、市況については上物基準630~640円中心の動きか。

食 鳥

プロイラー流通統計による1月の出荷は5,793万羽で前年同月比108%と予測している。

一方正月明け直後は荷が少く、12月末の市況を継続すると予想されるが中旬以降は供給増、需要減となり市況は弱含みの推移となろう。

価格は正肉で590円、と体大で265円程度と予測される。

鶏 卵

生産量は、寒さによる産卵率低下、餌付羽数の減少

により、やや落込むと予測されるが、年末年始の産地滞貨が出回ることとなり、出荷量は増加するものと思われる。

一方、正月明けということもあり家庭消費を中心とした需要は家計引締め等から低調なものとなろう。

初市は210円~220円でスタートし、月間平均価格はMサイズ245円程度と予想される。

飼料 飼料穀物の主原料相場は、米国の豊作確定から需給バランスが回復し、安定した相場が続いているが副原料の蛋白原料は強気配となっている。

船運賃は、秋口の強含み傾向も船腹過剰基調から大幅上伸はないと思われるが、ソ連の買付動向によっては、原料及び船運賃相場への影響も予想される。

一方外国為替は今春以降ドル高で推移しているが、12月に入りさらに円安傾向が強まっている。

以上の情勢から60年1~6月配合飼料価格は値下げされる見通しだが、値下げ額は外国為替相場に左右されそうである。なお脱粉情勢悪化に伴ない哺乳期飼料は値上げ予想である。

(宮城県経済連食肉養鶏課 舟山)
" 飼料課 石井)

畜産物市況

種 目	規 格	単 価	価 格	摘 要
牛	和牛メス 上	枝肉1kg	2,189円	仙台市場11月平均
	" ヌキ 上	"	2,224	"
	" 中	"	1,754	"
	乳牛メス 中	"	1,360	"
豚 肉	" ヌキ 中	"	1,328	"
	上	"	596	"
	中	"	573	"
	和牛子牛	1頭	299,032	指定市場規格牛11月平均
子 豚		"	24,905 25,709	経済連黒川市場 } 11月 畜連小牛田市場 } 平均

くみあい専属利用登録を しましよう

*飼料価格安定基金には全戸加入

*畜産物価格保証制度には全量加入



農協・宮城県経済連・全農

動物用薬品器材のことなら 古い伝統
と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市上杉3丁目3-8

東北獣医薬品株式会社

TEL ②7330・7338・7339

仙北営業所 登米郡迫町佐沼萩原1

02202 (2) 2278~9

山形営業所 山形市小石川四丁目9~24

0236 (23) 9909~9990

古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28

02293 (4) 2018~9



賀 春



宮城県農業協同組合中央会長	木 村 秀寿
宮城県経済農業協同組合連合会長	木 佐 鉄山
宮城県信用農業協同組合連合会長	大 江 富一郎
宮城県畜産農業協同組合連合会長	大 石 武一
宮城県農業共済組合連合会長	佐々木 源左門
宮城県生乳販売農業協同組合連合会長	伊 藤 宗一
宮城県農業公社理事長	高 橋 元三郎
宮城県草地協会長	二 鈴 助泰
宮城県獣医師会長	木 沢 新作
宮城県酪農協会長	半 佐 善吉
宮城県ホルスタイン協会長	佐 藤 利穎
宮城県軽種馬協会	太今石 野武治
日本種豚登録協会宮城県支部長	千 葉 清治
日本あか牛登録協会宮城県支部長	佐 藤 吉一
全国和牛登録協会宮城県支部長	佐 佐 利吉
宮城県肉用牛協会長	百 横 一崇
宮城県家畜畜産物衛生指導協会長	横 佐 吉一
宮城県乳業協会長	佐 大 武
宮城県家畜商協同組合長	佐 岩 寿
宮城県養鶏協会長	鈴 遠 太郎
宮城県ホルスタイン改良同志会長	遠 萱 真治
宮城県家畜人工授精師協会長	萱 佐 喜代志
宮城県肉用牛価格安定基金協会長	佐 佐 鉄山
宮城県畜産物価格安定基金協会長	伊 藤 山
宮城県養豚改良協会長	百 井 鉄宗
宮城県牛乳普及協会長	伊 藤 一
宮城県畜産会長	百 井 英一

(順不同)